

シロイヌナズナ (白犬薺)

名前の意味：花が白いイヌナズナの意味。イヌは似ているけれども役立たない植物につける。ナズナは、なでたいほどかわいい菜という意味。菜という言葉がつく植物はかつて食べられていたことを示す。

分類：双子葉類、アブラナ科、シロイヌナズナ属

(アブラナ科の栽培植物：アブラナ、ダイコン、ワサビ、カブ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ原産、昔から日本に生えていた(自生)所もある

特徴：楕円形の地面を円くおおう葉、白い小さな花、棒状の実

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：4枚、離弁(花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：4—5月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：ナズナとは、果実の形が棒状であることで区別できる。

タネツケバナとは、葉が切れ込まないことで区別できる。

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)